

# 希望の種

ふくおかNPOファイル

27

初恋は中学2年。相手は女子バドミントン部の後輩。友人には話せず、気になる男子がいるふりをした。辞書で「同性愛」という単語をこっそり調べると、当時、その意味は「異常」と書いてあった…。

福岡でセクシュアルマイノリティ（性的少数者）支援のため、情報発信や啓発活動を行うNPO法人「Rainbow Soup」（レインボースープ、福岡市中央区）の理事長を務める小嶋ローマさん(43)は、自身の体験をこう語ってくださいました。

セクシュアルマイノリティで代表的なのは「LGBT」（レズビアン・女性同性愛者、ゲイ・男性同性愛者、バイセクシュアル・両性愛者、トラ

## Rainbow Soup

事務所＝福岡市中央区▽電話番号＝080(3228)4492  
メールアドレス＝rainbowsoup.fukuoka@gmail.com

ンスジェンダーと体の性が一致しない人)ですが、他にも、性欲望自体を持たない方や、男女に区分けされたくない方など、さまざまな人々がいます。

2015年に「電通ダイバリーシティ・ラボ」が行った調査によると、日本では人口の約

7.6%がLGBTを自認しているとされます。40人学級であれば、1クラスに3人程度の当事者がいる割合です。一方、16年に「国際人権団体ヒューマン・ライツ・ウォッチ

チ」が発表した報告書「日本の学校におけるLGBT生徒へのいじめと排除」では、LGBT

「プ」と認める証明書を東京都渋谷区が発行している例はありますが、同性結婚が法的に認められていない日本では、老後の社会保障などに不安が募ります。

現在月3回ほどに上りま

11月は「レインボーウィーク」として、福岡市でも多くのLGBT関連イベントが開かれます。ジュンク堂書店福岡店では関連書籍を集めた

「性の多様性を知ろう」特設フェアを開催中。13日までは博多マルイで、性的少数者を撮影した写真展が開かれています。

## LGBTの理解促す

T当事者の86%が、学校で先生や生徒による暴言や否定的な言葉、冗談を言っているのを聞いたと回答しました。

その多くが自治体による人権セミナーや学校教員向け研修ですが、最近では企業からの依頼も増えています。当事者を含む従業員・株主・顧客対応として、市場開拓や競争力向上、法令順守の面から

のメンバーに連なるイベント「九州レインボープライド」が、冷泉公園で開催され、パレードやブース出展などがあ

小嶋さん自身は、高校2年生の時に家族にカミングアウト(公表)し、ありのままを受け入れてもらえました。しかし当事者の友人には、「怒られて拒絶された」「矯正しろと言われた」という人も多く、家族の受け止め方が、その後の人生の大きな分かれ目になってしまつていいます。

「無理に理解はしなくていいけど、慣れてもらいたい。配慮や特権が欲しいわけではない。平等を減らしたくないです」と小嶋さん。理解促進

「普通」や「当たり前」が、すぐ隣にいる大切な誰かを傷つけないように。自分自身の「みんなと違う」も、ありのまま受け入れられる未来のために。



学校の教職員向けに講演する小嶋ローマさん

また同性のカップルを結婚に相当する「パートナーシップ

が増えていくことだと強調し

(仮認定NPO法人アカツキ 代表理事 永田賢介)